

第3次熊本市歯科保健基本計画 令和2年度の進捗と令和3年度の取組について

基本方針に基づいて施策を推進

- 1 各ライフステージにおける対策の推進
- 2 歯と口腔の健康づくりを支え・守るための環境づくり

議題1 「各ライフステージにおける対策の推進」について

胎児期及び妊娠期、乳幼児期 指標1～8

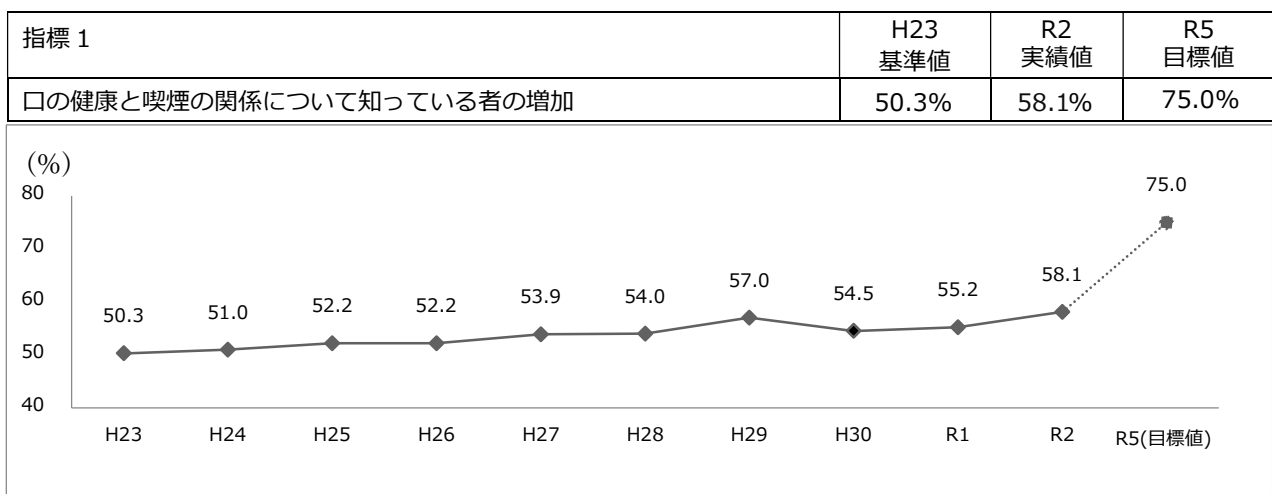
【目標】

胎児期及び妊娠期：口腔の健康を通して、健やかな妊娠生活を支援する

乳幼児期：乳幼児の歯と口腔の健やかな発達と楽しい育児を支援する

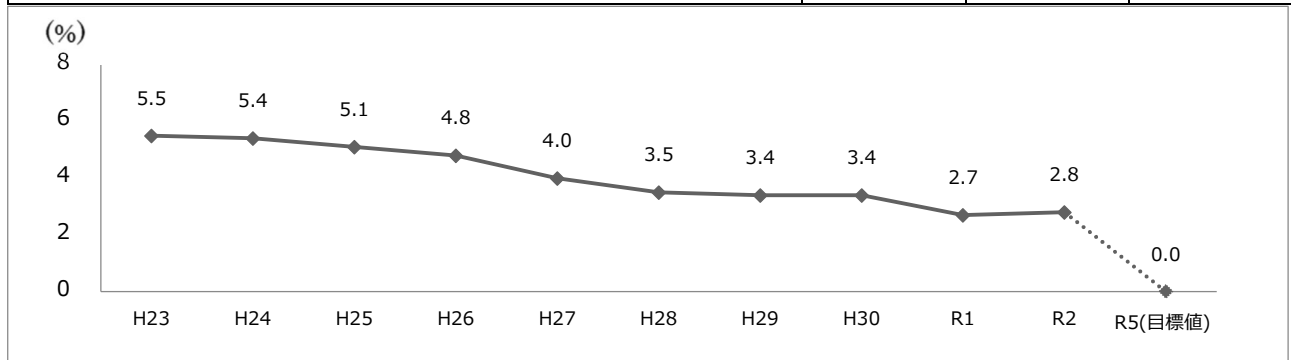
【現状と課題】

- (1) 指標1「口の健康と喫煙の関係について知っている者」は順調に推移し増加しているものの、指標2「妊娠中の喫煙」は微増、指標3「妊娠中に歯科健診・指導を受ける者」は減少と目標に達していない状況である。喫煙や受動喫煙による歯周病が与える母子への健康被害の影響、早産や低体重児出産等の防止等、妊娠早期から啓発する必要がある。
- (2) 指標4「1歳6か月児でのむし歯のない者」、指標5「3歳児でのむし歯のない者」は増加しているものの全国と比較すると少ない状況であるため、指標5の目標値であるむし歯のない3歳児を90%にする「歯っぴー39(サンキュー)チャレンジ」のスローガンのもと、子どもに関わる家族を対象に配布する「歯っぴー39 チャレンジリーフレット」に仕上げみがきの動画や子ども自身が歯みがきを楽しくできるアプリの紹介動画をQRコードで掲載し、保護者にはわかりやすく、子ども自身には楽しくできるように充実を図っている。
- (3) 指標6「3歳児での不正咬合等が認められる者」は減少しているが、指しゃぶり等が原因と考えられる上顎前突等は増加している。
- (4) 指標8「フッ化物洗口を実施する認可保育園・幼稚園」は新規に開始した園はあったが、コロナ禍で中止する園があり、目標に達していない状況である。



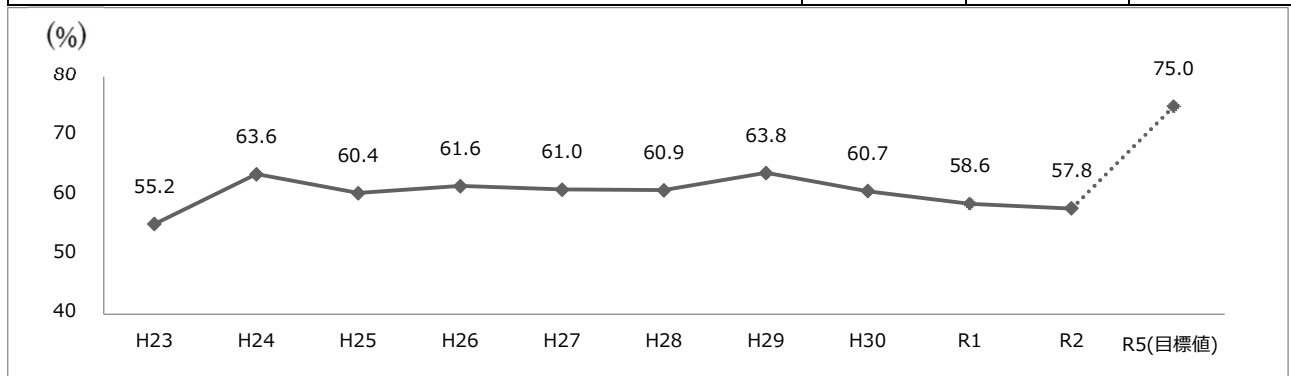
出典：【熊本市】妊婦歯科健診結果

指標 2	H23 基準値	R2 実績値	R5 目標値
妊娠中の喫煙をなくす	5.5%	2.8%	0.0%



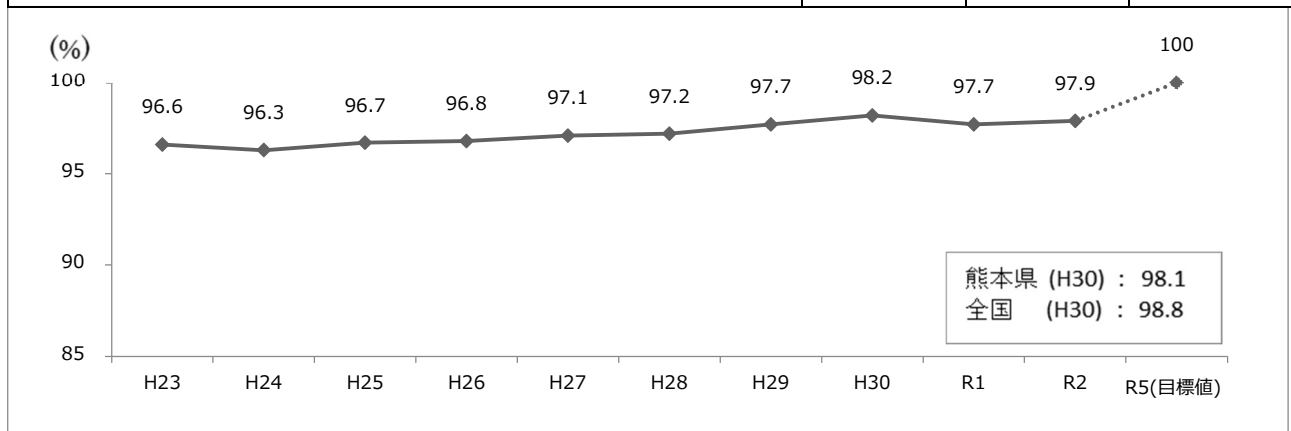
出典：【熊本市】親子（母子）健康手帳交付時の問診項目（健康くまもと 21 の指標データ）

指標 3	H23 基準値	R2 実績値	R5 目標値
妊娠中に歯科健診・指導を受ける者の増加	55.2%	57.8%	75.0%



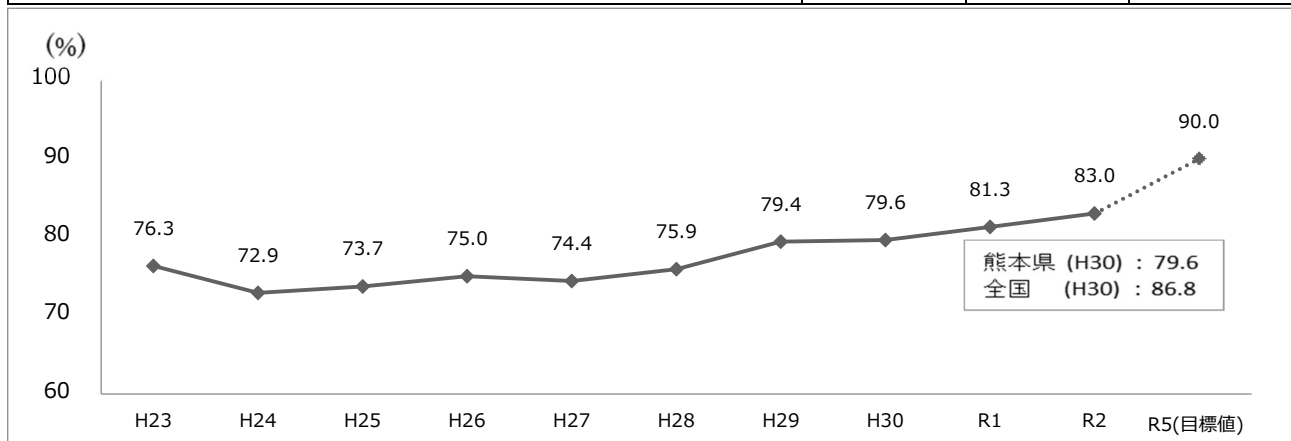
出典：【熊本市】妊婦歯科健診結果

指標 4	H23 基準値	R2 実績値	R5 目標値
1歳6か月児でのむし歯のない者の増加	96.6%	97.9%	100.0%



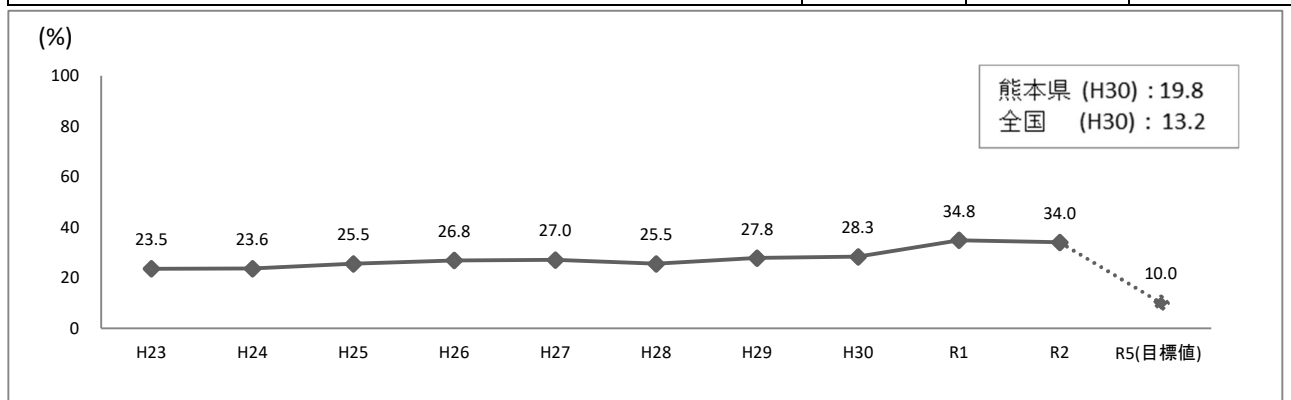
出典：【熊本市】1歳6か月児歯科健診結果 【全国・熊本県】熊本県歯科保健状況調査

指標 5	H23 基準値	R2 実績値	R5 目標値
3歳児でのむし歯のない者の増加	76.3%	83.0%	90.0%



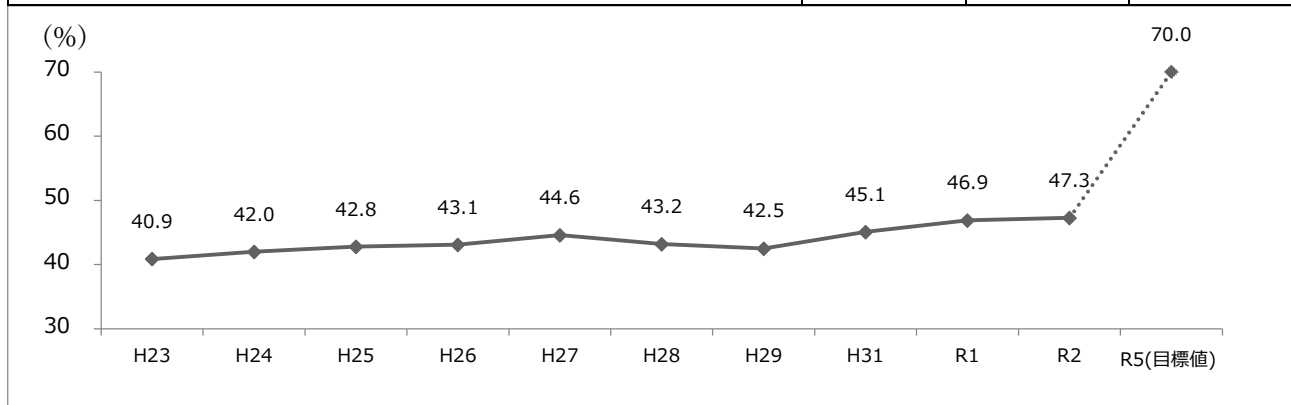
出典：【熊本市】3歳児歯科健診結果 【熊本県・全国】熊本県歯科保健状況調査

指標 6	H23 基準値	R2 実績値	R5 目標値
3歳児での不正咬合等が認められる者の減少	23.5%	34.0%	10.0%



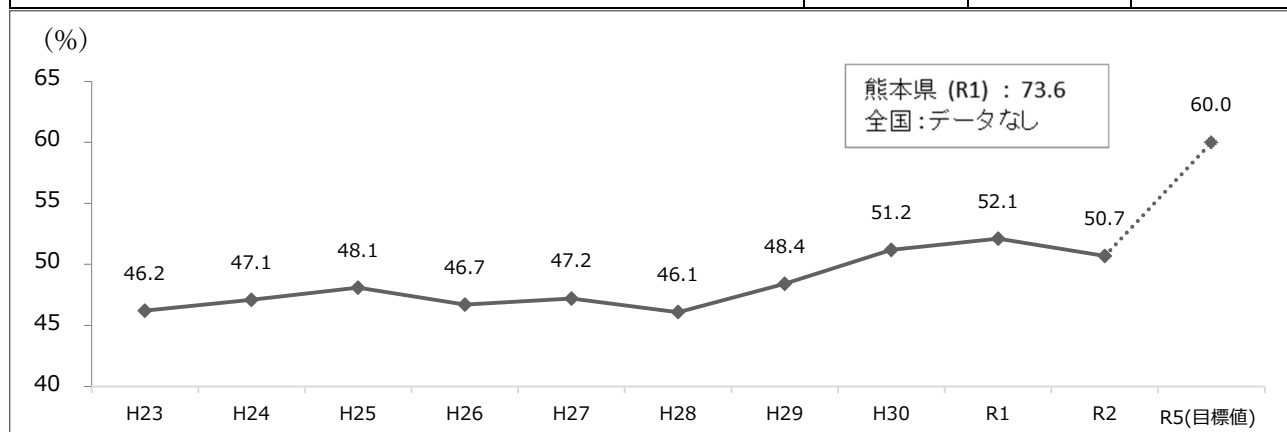
出典：【熊本市】3歳児歯科健診結果 【熊本県・全国】熊本県歯科保健状況調査

指標 7	H23 基準値	R2 実績値	R5 目標値
3歳までに2回以上フッ化物塗布を受けたことがある者の増加	40.9%	47.3%	70.0%



出典：【熊本市】3歳児歯科健診結果

指標 8	H23 基準値	R2 実績値	R5 目標値
フッ化物洗口を実施する認可保育園・幼稚園の増加	46.2%	50.7%	60.0%



出典：【熊本市】健康くまもと 21 歯科保健部会資料【熊本県】熊本県歯科保健状況調査

【令和 2 年度の進捗】

《 行政 》

	主な取組	令和 2 年度 内容	実績	担当課
1	妊婦歯科健診・相談事業	【子育て世代包括支援センター事業】 親子(母子)健康手帳交付時の歯科健診、歯科健康相談を実施 相談日 425 回 1,909 人 相談日以外 170 回 251 人	595 回 2,160 人	各区 保健子ども課
2	妊産婦健康相談	妊婦に対して歯科健康相談を実施	15 回 15 人	
3	1 歳 6 か月児歯科健診・フッ化物体験塗布	・ 1 歳 6 か月児健康診査において歯科健診、歯科健康相談を実施 ・ フッ化物体験塗布(希望者)を実施し、定期的な歯科健診の勧奨 体験塗布者：6,334 人 (91.7%)	272 回 6,908 人	各区 保健子ども課
4	1 歳 6 か月児歯科健診事後フォロー	1 歳 6 か月児健診時に初期むし歯があった児(保護者)に対し、受診 3 か月～6 か月後に電話等によるフォローを実施	91 回 75 人	南区 保健子ども課
5	3 歳児歯科健診	3 歳児健診において歯科健診、歯科健康相談を実施	253 回 6,949 人	各区 保健子ども課
6	乳幼児歯科健康教育	子育てサークル等においてむし歯予防講話等を実施	12 回 68 組 12 校区	
7	乳幼児育児相談(歯科健康相談)	【子育て世代包括支援センター事業】 区役所や子育てサークル等において歯科健康相談を実施	94 回 116 人	各区 保健子ども課
8	フッ化物洗口支援事業	フッ化物洗口の実施を希望する保育所等に対して、洗口剤等を配布するとともに、円滑な実施に係る技術支援を実施 ※新規開始 2 施設	110 施設	各区 保健子ども課 健康づくり 推進課
9	フッ化物洗口支援事業説明会	本市の幼児の口腔状況や「歯っぴー39 チャレンジリーフレット～むし歯のない 3 歳児を 9 割に増やそう～」・「無料歯科健診券付き啓発カード」及びフッ化物洗口支援事業の説明	職員 37 施設 保護者・園児 3 施設	各区 保健子ども課

10	保育所等における歯科健康教育	対象：幼児、保護者等 内容：歯科講話、歯みがき指導やフッ化物洗口指導を実施	88 回 3,961 人 85 施設	各区 保健子ども課
11	ホームページを活用した啓発	南区子育て支援情報に乳幼児期の歯科保健について記事掲載（6月～）	実施	南区 保健子ども課
12	園長会におけるフッ化物洗口支援事業説明	「熊本市保育園連盟」、「熊本市私立幼稚園・認定こども園協会」の園長会において、本市の乳幼児の口腔状況や歯っぴー39 チャレンジリーフレット・無料歯科健診券付き啓発カード等歯と口腔の健康づくり啓発資料の配布及びフッ化物洗口支援事業について依頼	各 1 回	健康づくり 推進課
13	乳幼児ママパパ教室	子育て支援センターや育児サークル等の乳幼児と保護者に対し、「歯っぴー39 チャレンジリーフレット」を活用した啓発を実施（コロナ禍のため中止：2 件）	1 回 6 組	北区 保健子ども課 子ども支援課
14	保育所等における歯科健康診断	保育所等において、園歯科医師による歯科健診を実施	219 施設	保育幼稚園課
15	出前講座	庁内各課および関係機関が実施する講座について、一覧をで周知し、生涯学習を通して歯と口腔の健康づくりに取り組む講座：「食べない時の口から支援～幼児ベロタッチ健康法」実施団体：口からの健康づくり歯っぴーかむカム	10 回 90 人	生涯学習課

《 関係団体・機関 》

	令和 2 年度 内容	実績	団体
1	妊婦に対して、歯科健診、歯科健康相談（禁煙指導、受動喫煙の害等）を実施	1,576 人	熊本市 歯科医師会
2	産婦人科において、妊婦歯科健診の受診勧奨に関するチラシの配布を依頼	実施	
3	【市町村歯科衛生士研修会】（2/20） 母体の中で胎児の歯や口腔が健全に発育する大事な妊娠期において、ホルモンバランスの変化などにより、口腔疾患が発症しやすく早産や低出生体重児の出産リスクが高まることについて学んだ 「早産予防対策事業について」 熊本市子ども未来課 古省澄佳氏 「妊娠中から取り組む子供のむし歯予防」 慶歯科医院院長 村上慶氏 「熊本市の妊婦歯科健診について」 熊本市東区保健子ども課 江頭陽子氏	63 人 （オンライン）	熊本県 歯科衛生士 会
4	園歯科医の把握とフッ化物洗口への協力依頼	全会員	熊本市 歯科医師会
5	保護者に対する食事等の生活指導を実施	実施	
6	【歯っぴー39 チャレンジリーフレットの配布】 7 ヶ月児健診時に配布し啓発を実施	実施	熊本市 医師会
7	【乳幼児期の歯科健康教育動画の制作】 コロナ禍における効果的な普及啓発の媒体として、広く市民に子どものむし歯予防に関する正しい情報を提供するため、熊本市が推進する子どものむし歯予防施策である「歯っぴー39 チャレンジ」に基づき制作	1 本	熊本県 歯科衛生士 会

8	【園長会】(1/21) 「フッ化物洗口支援事業」「歯と口腔の健康づくり啓発資料の配布」について、会員園への説明と実施継続について健康づくり推進課より呼びかけと情報提供	実施	熊本市 保育園連盟
9	【給食部会 3 ブロック合同研修会】(1/14) 講演：「歯科医師が教える 0 歳児から始める口腔講座～給食の先生方が知っておくべき 3 つのポイント～」 講師：生田歯科医院 院長 生田 康生 氏	32 人	
10	【園における昼食後の歯みがきの位置付け】 幼児の歯みがきの習慣づけのために、昼食後の歯みがきを位置付けてきたことから歯みがきが習慣化するよう園便り等で各家庭に歯みがきの定着の呼びかけ 【フッ化物洗口の推進】 ・フッ化物洗口に取り組んでいる園は 10 園（45 会員園中） ・一園追加予定であったが、新型コロナウイルス感染の影響で取りやめになった 【熊本県歯科保健状況調査の協力】	全施設	熊本市 私立幼稚園 ・認定こども園協会
11	【設置者・園長会】(1/27) フッ化物洗口支援事業の説明と実施継続及び歯と口腔の健康づくり啓発資料の配布について健康づくり推進課より依頼及び情報提供	全施設	
12	【おやこの食育教室】親子での調理実習（11/1）※託麻南校区 食育ランチョンマットを活用し、主食・主菜・副菜を揃えることや噛んで食べることの大切さについての講話や、食育クイズを行い、朝食の欠食の予防と共食の大切さを伝えた	親子 22 組	熊本市 食生活改善 推進員協議 会
13	【子どもの健康・食生活の支援活動】 子育て世代の地域住民へ、手作りおやつレシピ（3 種）を配付し、作り方、幼児にとってのおやつ目的、おやつの適切、しっかり噛む食べ方等を啓発	691 回 1,044 人	
14	子育てサークル・保育所等において、むし歯予防教室における歯科啓発を実施	3 回 41 人	熊本市 8020 健康 づくりの会

【令和 3 年度の取組予定】

《 行政・団体等 》

	令和 3 年度 予定	課・団体
1	妊産婦健康相談日以外の妊婦歯科健診を継続実施する 区のホームページでの啓発を行う	各区 保健子ども課
2	妊婦歯科健診について受診勧奨し、歯科健診及び個別指導を継続実施する	熊本市 歯科医師会
3	【マスコミによる啓発】熊本シティエフエム健康サロンへの出演 妊娠中の喫煙や飲酒の及ぼす影響についてアナウンス予定（11/17）	熊本県 看護協会
4	「離乳食教室」や「育児教室」において歯科講話を実施する	中央・西・南・北 区保健子ども課
5	【歯みがき教室実施の意向調査】 ・管内の全保育所等において、歯みがき教室開催の意向を調査し、歯みがき教室の際にフッ化物洗口支援事業についても理解が得られるよう働きかけ、フッ化物洗口の新規園の開拓 ・フッ化物洗口の継続保育所において初めて洗口を開始する年中児について、コロナ禍で、訪問できない場合は、電話等により適切な指導を実施	各区 保健子ども課

6	コロナ禍において外出の機会が減り、生活習慣が乱れる児が増加する可能性が高いため、フッ化物配合歯磨剤の使用や歯みがきを含む生活習慣の改善について啓発する	各区 保健子ども課
7	区のホームページでの啓発を行う（6/1～記事内容を更新し掲載中）	南区 保健子ども課
8	【1歳6か月児歯科健診の事後フォロー】 歯っぴー39 チャレンジの推進により3歳でむし歯のない児の増加や、コロナ禍における歯科受診の不安軽減を図る	
9	熊本市保育園連盟、熊本市私立幼稚園・認定こども園協会の園に対して、歯と口腔の健康づくり啓発資料の配布による啓発を実施した	健康づくり 推進課
10	保育所におけるフッ化物洗口の推進や園歯科医による歯科講話の推奨	熊本市 歯科医師会
11	【歯みがき習慣アプリ：ポケモンスマイルの周知】 子どもを飽きさせずに、正しい歯みがきを習慣化するために役立つアプリを日本歯科医師会が協力し作成したアプリ	
12	【乳幼児期の歯科健康教育動画の活用】 ・子どものむし歯予防に関する普及啓発において活用する（地域や保育園などでの歯科健康教育、幼児健診時の歯科保健指導など） ・YouTube 配信や熊本県歯科衛生士会ホームページにおいて普及啓発を行う	熊本県 歯科衛生士会
13	【フッ化物洗口支援事業の支援】 園担当の学校薬剤師が各担当園において支援を行う	熊本市 薬剤師会
14	【フッ化物洗口の実施】 令和2年度にフッ化物洗口開始を断念した園（第2さくら体育幼稚園）が実施可能となり、年中園児と年長園児で実施 令和3年6月の歯科検診結果と令和4年6月の歯科検診を比較し、効果について幼稚園部会に報告するとともに各園への広まりにつなげる	熊本市 私立幼稚園・認定こども園協会

【今後の方向性】

- （1）妊娠期の歯科健診の受診率向上の取組について、医科をはじめとした多職種関係団体の連携を強化し、専門的な口腔ケアや喫煙・受動喫煙等についての啓発を行う。
妊婦や子ども、その家族等については、無料歯科健診券付き啓発カードを活用し、フッ化物配合歯磨剤や歯間部清掃補助道具(デンタルフロス・歯間ブラシ)の習慣的使用を啓発する。(カード配布対象：妊婦・1歳6か月児・3歳児以外の家族)
- （2）乳児期からのむし歯予防強化のため、「歯っぴー39 チャレンジ」の推進について、関係団体と連携を図り、「歯っぴー39 チャレンジリーフレット」の配布やSNSを活用した啓発に取り組みを推進し保護者等の更なる理解を図る。

学童期、中・高生期 指標 9～12

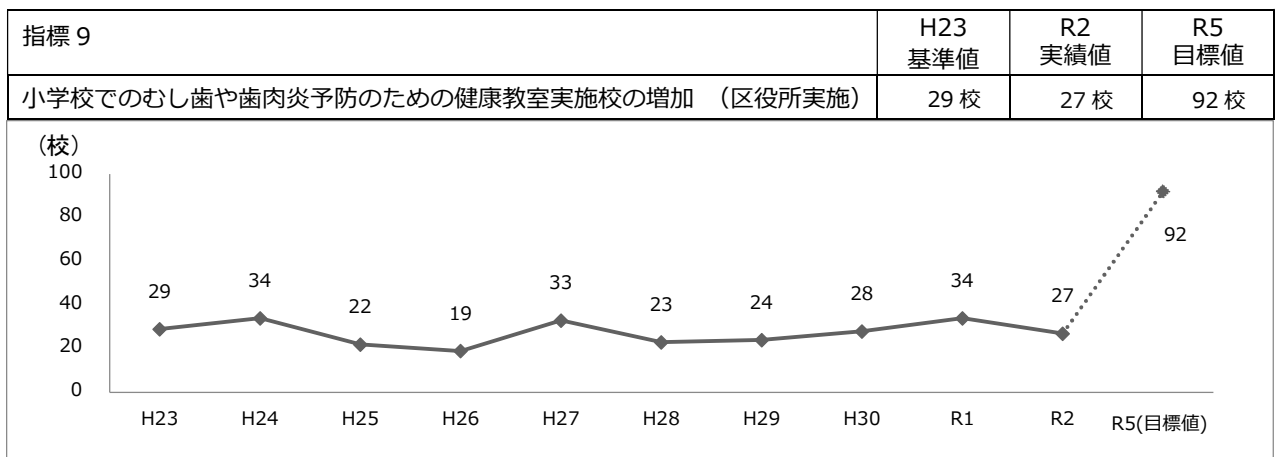
【目標】

学 童 期：乳歯と永久歯の生え変わりが始まる時期であり、自分の口にあった歯みがき習慣を身につけむし歯や歯肉炎のない楽しい学校生活を支援する

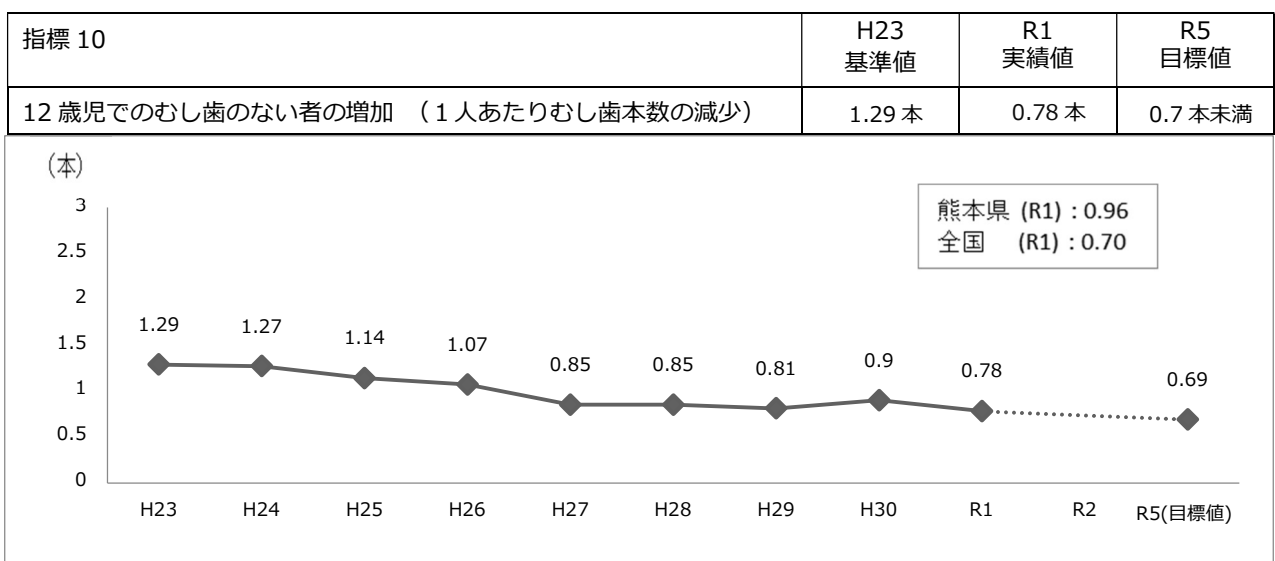
中・高生期：生活習慣の改善によりむし歯や歯肉炎を減少させることができる中高生が増加するよう支援する

【現状と課題】

- (1) 指標 10「12 歳児でのむし歯のない者（1 人あたりむし歯本数）」は減少しているものの全国と比較すると多い状況である。全小学校におけるフッ化物洗口事業の実施を目指しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施校が減少している。
- (2) 指標 11「中学生における歯肉に炎症所見を有する者」は減少しているものの、指標 12「高校生における歯肉に炎症所見を有する者」は増加傾向であるため、成人期における歯周病予防に向けた中・高生期における歯周病予防の取組が必要である。

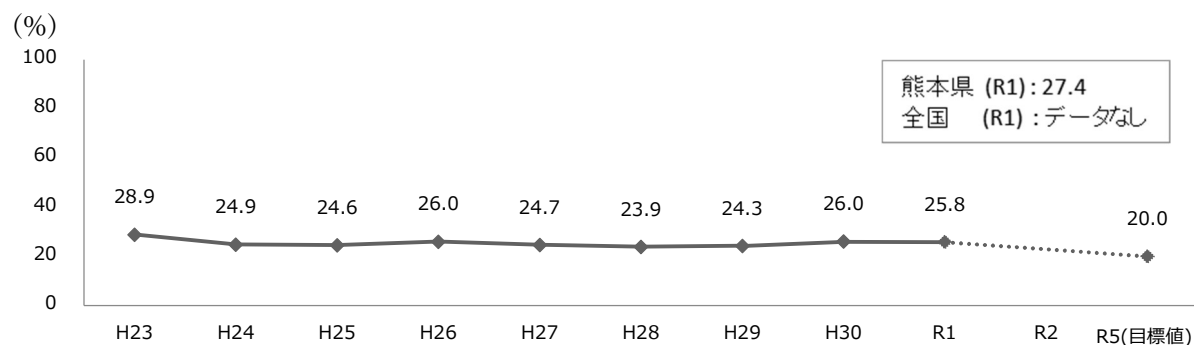


出典：健康くまもと 21 歯科保健部会資料



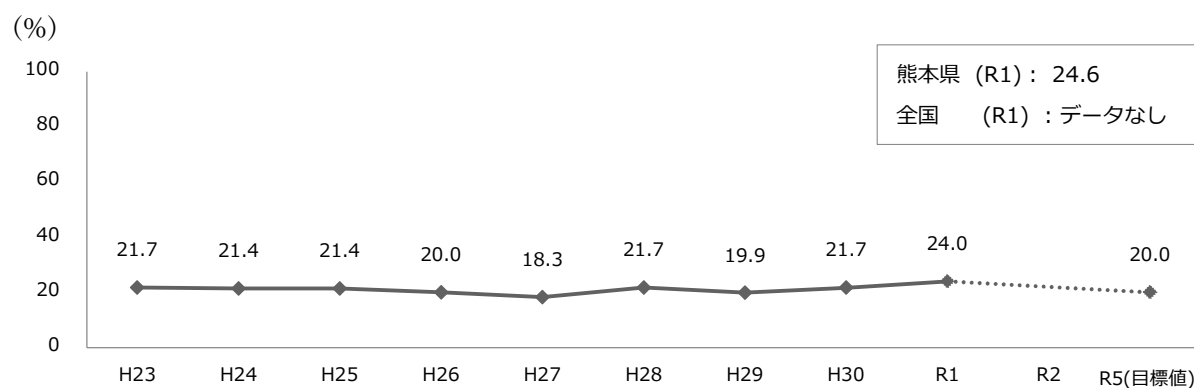
出典：熊本県歯科保健状況調査

指標 11	H23 基準値	R1 実績値	R5 目標値
中学生における歯肉に炎症所見を有する者の減少	28.9%	25.8%	20.0%



出典：熊本県歯科保健状況調査

指標 12	H23 基準値	R1 実績値	R5 目標値
高校生における歯肉に炎症所見を有する者の減少	21.7%	24.0%	20.0%



出典：熊本県歯科保健状況調査

【令和2年度の進捗】

《 行政 》

	主な取組	令和元年度 内容	実績	担当課
1	歯科健康教育	小中学生を対象としたむし歯や歯肉炎の予防等の講話や歯みがき指導を実施 小学校：27校 39回 2,555人 中学校：1校 1回 164人	40回 2,719人 28校	各区 保健子ども課
2	歯科健康相談	小中学生や保護者に対して実施 小学生：11回 11人 中学生：1回 1人	12回 12人	
3	学校保健委員会	小中学校からの依頼により学校保健委員会において、学校や家庭における歯と口腔の健康づくりに関する講話や取組等の助言等を実施 小学校：1校 中学校：1校	2校	南区 保健子ども課

4	歯科検診	・就学時歯科検診、学校歯科検診の実施及び歯科受診勧奨 ・熊本県歯科保健状況調査の協力 ・歯科保健指導・歯みがき指導や保健だより等による啓発 ※小学校：92校 中学校：42校 高校：2校 特別支援学校：2校	138校	健康教育課
5	歯みがき巡回指導	歯科医師・歯科衛生士による正しい歯みがきの定着と歯と口腔の健康づくりを推進するため専門的な指導を実施 主催：熊本市学校保健会・熊本市歯科医師会 協力：熊本市教育委員会・熊本県歯科衛生士会熊本市支部 対象：小学3年生及び特別支援学級	中止 (コロナ)	
6	小学校 フッ化物洗口 事業	むし歯予防及び歯と口腔の健全な育成の支援のため、週1回法によりフッ化物洗口を小学校において実施	36校	健康づくり 推進課 各区 保健子ども課
		フッ化物洗口説明会の開催	・教職員：38校 ・保護者：16校	
		「校区単位の健康まちづくり」等においてフッ化物洗口チラシの配布や洗口体験等の啓発を実施	中止 (コロナ)	

《 関係団体・機関 》

	令和元年度 内容	実績	団体
1	【歯みがき巡回指導】行政（教育委員会）と連携し実施 ・小学校3年生：講話と歯みがき実践指導 ・特別支援学級児童：講話劇と歯みがき実践指導	中止 (コロナ)	熊本市 歯科医師会 熊本県 歯科衛生士会
2	【薬物乱用防止教室】学校薬剤師が、口腔内への影響について説明 【フッ化物洗口事業への協力】開始に向けての支援・相談を受けた	各担当学校にて実施	熊本市 薬剤師会
3	【子どもの命を守る推進事業】小中高校生への性教育出前授業 妊娠・出産及び喫煙や歯の健康への影響について講義	学校から 依頼なし	熊本県 看護協会
4	【歯・口の保健指導】各学年:2時間程度 ・5年:全国歯みがき大会に参加 ・他学年:学級で養護教諭作成の資料等を基に担任による発達段階に応じた指導 ・養護教諭による指導（動画や模型によるブラッシング・感染症対策の指導） 【給食後の歯みがき】2学期から毎日実施 ・学校再開直後は中止し、家庭での夜の歯みがきの強化を依頼 ・給食後の歯みがき再開に向け、歯みがき時の感染症対策の徹底(養護教諭による各学級での指導) ・給食後の歯みがきの再開、児童保健委員会による歯みがきの啓発 【家庭での歯みがきの意識づけ】 ・歯みがきカレンダーを活用した親子での歯みがきの啓発：年3回 ・歯みがき状況の確認、子どもの頑張りを伝える取組	実施 熊本市立 山本小 全児童80人	熊本市小学校 校長会
5	【郷土料理講習会】城南小4年生 11/12 熊本の郷土料理について講話を行い、食文化の伝承や噛んで味わうことを推進	2クラス 46人	熊本市 食生活改善 推進員協議会
6	【世代別に取り組む生活習慣病予防のためのスキルアップ事業(若者世代)】10/30 食事バランスプレートを使用し、バランスのとれた食事をしっかり噛んで食べる習慣化や、汁物の食濃度の測定法等を伝授し、減塩の必要性の啓発	20人 熊本中央高校	

7	【歯と口腔の健康づくりの啓発】区役所と協働 小中学生対象のむし歯や歯肉炎予防教室において、歯みがき支援を実施し、歯科疾患予防の推進 小学校：5回 610人 中学校：0回	5回 610人	熊本市 8020 健康 づくりの会
8	【小学校におけるフッ化物洗口事業の受託と支援】 小学校のフッ化物洗口事業の受託や協力を行い、学童期におけるむし歯予防の推進を支援	196回 16,031人	熊本市 8020 健康 づくりの会

【令和3年度の実行予定】

《 行政・団体等 》

	令和3年度 予定	課・団体
1	・コロナ禍における小学校フッ化物洗口事業の取組や支援を関係課と調整し、教育委員会・学校・学校歯科医と連携を強化し推進する ・保護者説明会が開催できないため、フッ化物洗口説明の動画を制作し、QRコードで申込書に添付し対応した	健康づくり推進課 各区 保健子ども課
2	歯みがき巡回指導について、コロナ禍でも実施可能な方法を検討していく	健康教育課
3	フッ化物洗口事業への協力・支援	熊本市 歯科医師会
4	学校保健委員会などへの積極的な参加と啓発	
5	【薬物乱用防止教室】 学校薬剤師が、口腔への影響について説明 【フッ化物洗口事業への協力】 開始に向けての相談を受け支援	熊本市 薬剤師会
6	【子どもの命を守る推進事業】小中高校生への性教育出前授業 妊娠・出産及び喫煙や歯の健康への影響について講義を実施する	熊本県 看護協会
7	【歯・口腔の保健指導】 【給食後の歯みがき】【家庭での歯みがきの意識づけ】 新型コロナウイルス感染症が心配される状況の中で、子どもの命、健康を守る感染症対策を徹底した学びの継続にどの学校も取り組んでいる。できる方法等を模索しながら、子どもたちの健やかな学びに取り組んでいるが、歯科保健に関して例年通りの取組がまだまだ厳しい状況にある。	熊本市小学校 校長会
8	春日小学校でのフッ化物洗口事業については、コロナの状況をみながら2学期から実施予定	健康まちづくりを 推進する西区の代 表

◆小学校におけるフッ化物洗口の進捗状況と実施計画

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
実施校数	モデル事業									予定
	1	3	7	7	9	10	21	41	36	92
										
	1.0%			7.4%			22.8%	44.6%	39.1%	全校実施 100%

※令和2年度はコロナ禍のため71校予定のところ36校実施

【今後の方向性】

- (1) フッ化物洗口事業の全小学校92校の実施に向け、実施方法や従事する人材の確保を図る。
- (2) 学校における歯科健康教育は、学校歯科医と連携のもと実施し、フッ化物配合歯磨剤や歯間部清掃補助道具の使用の習慣化等、歯科保健指導の充実に図り、むし歯や歯肉炎・歯周病予防を図る。

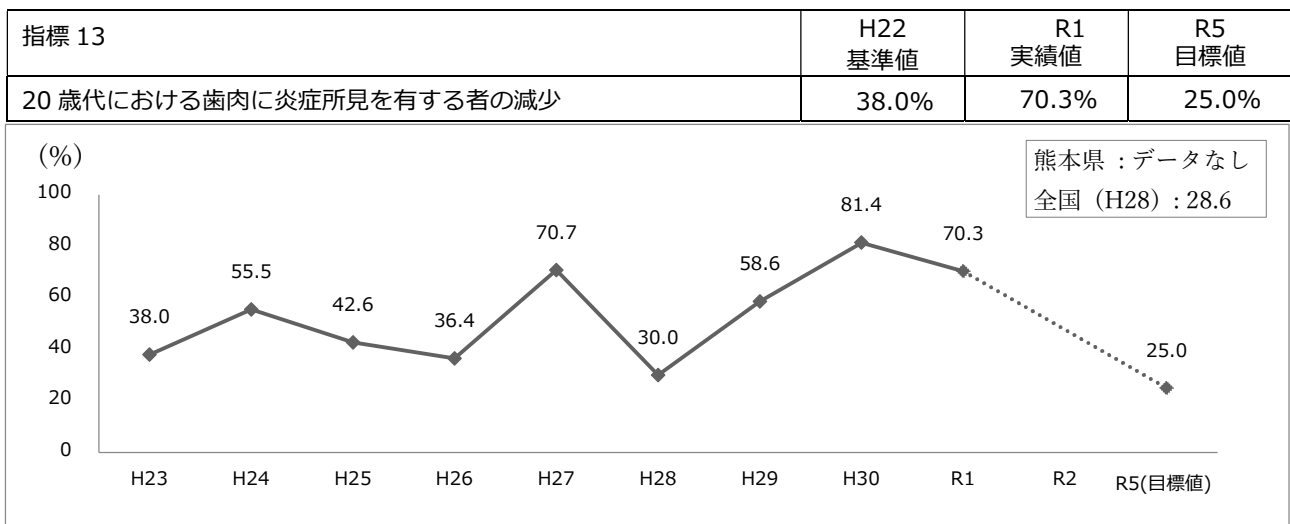
成人期 指標 13～22

【目標】

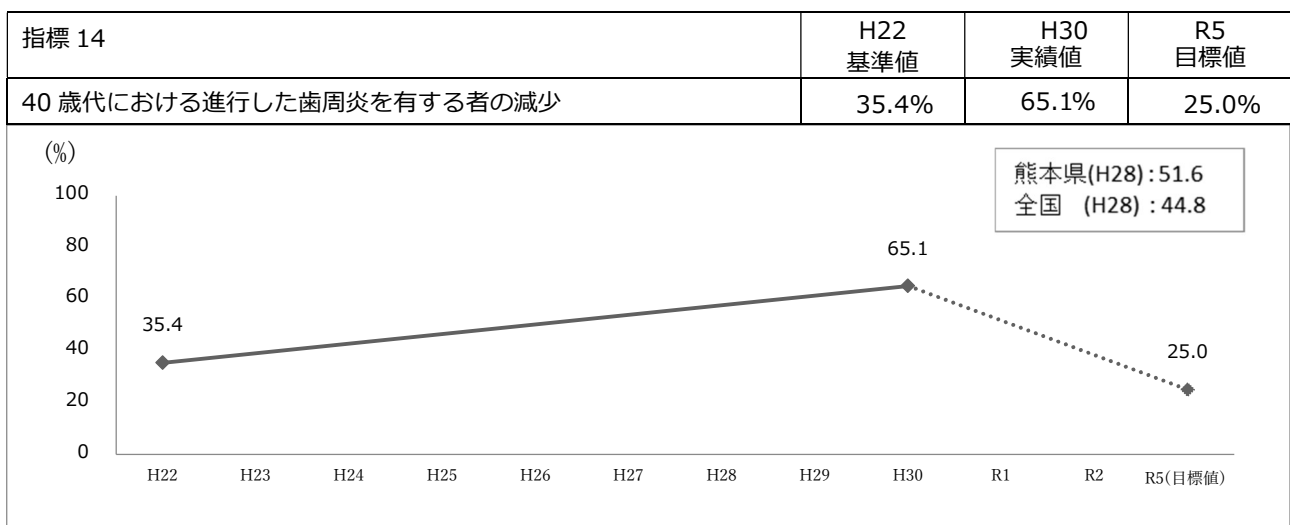
社会生活を送る上で、歯と口腔の健康づくりが重要であることを知り、自分に合った口腔ケアを獲得できるように支援する。

【現状と課題】

- (1) 指標 13「20 歳代における歯肉に炎症所見を有する者」は減少しているが、指標 14「40 歳代における進行した歯周炎を有する者」・指標 15「40 歳の未処置歯を有する者」・指標 17「60 歳代における進行した歯周炎を有する者」・指標 18「60 歳の未処置歯を有する者」は減少していないため、令和元年 10 月に開始した歯周病検診の周知を、大腸がんの郵送検診の個別通知に併せて受診勧奨し、受診率向上を図っている。
- (2) 指標 21「定期検診を受ける者」、指標 22「口の健康と喫煙の関係について知っている者」は、基準値から 2 倍以上増加しており、引き続き関係団体や企業等との連携による歯と口腔の健康づくりに関する環境整備や、健康意識の醸成に取り組む必要がある。

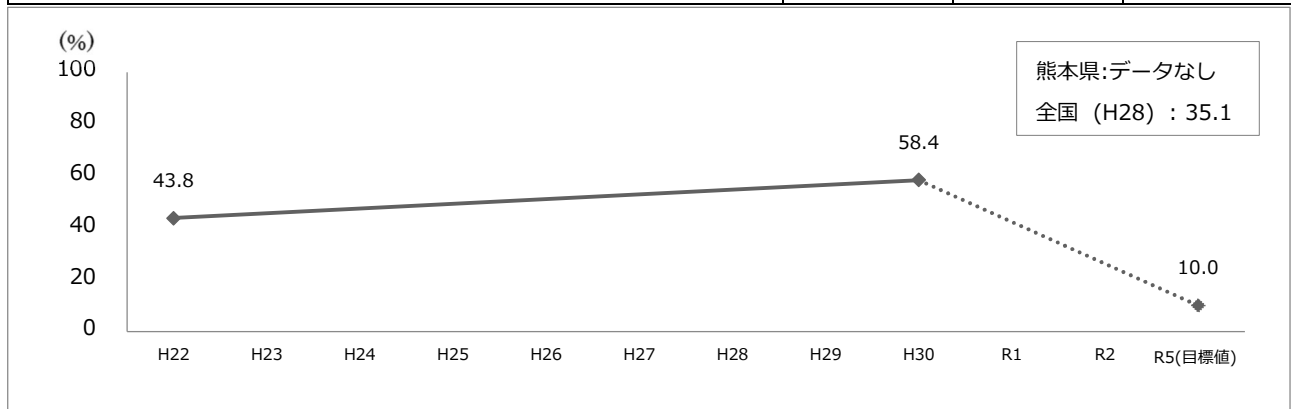


出典：【熊本市】歯たちの健診 【国】歯科疾患実態調査



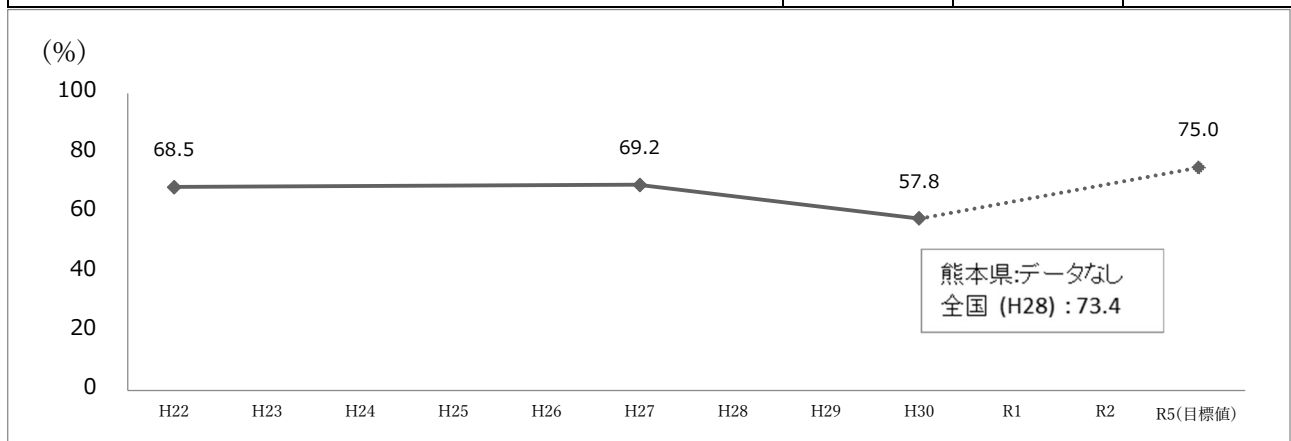
出典：【熊本市】成人歯科健診 【熊本県】熊本県歯科保健実態調査 【国】歯科疾患実態調査

指標 15	H22 基準値	H30 実績値	R5 目標値
40 歳の未処置歯を有する者の減少	43.8%	58.4%	10.0%



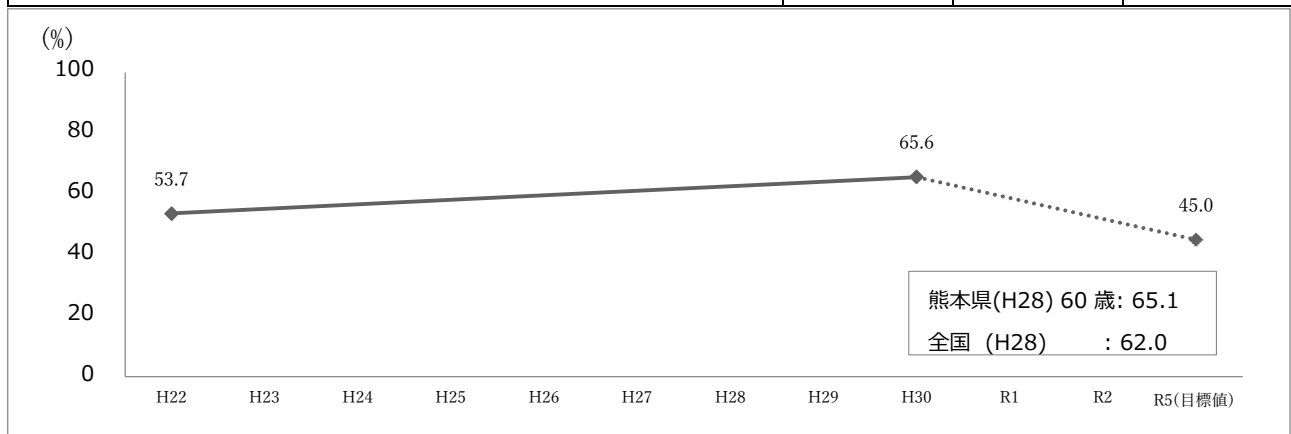
出典：【熊本市】成人歯科健診 【国】歯科疾患実態調査

指標 16	H22 基準値	H30 実績値	R5 目標値
40 歳で喪失歯のない者の増加	68.5%	57.8%	75.0%



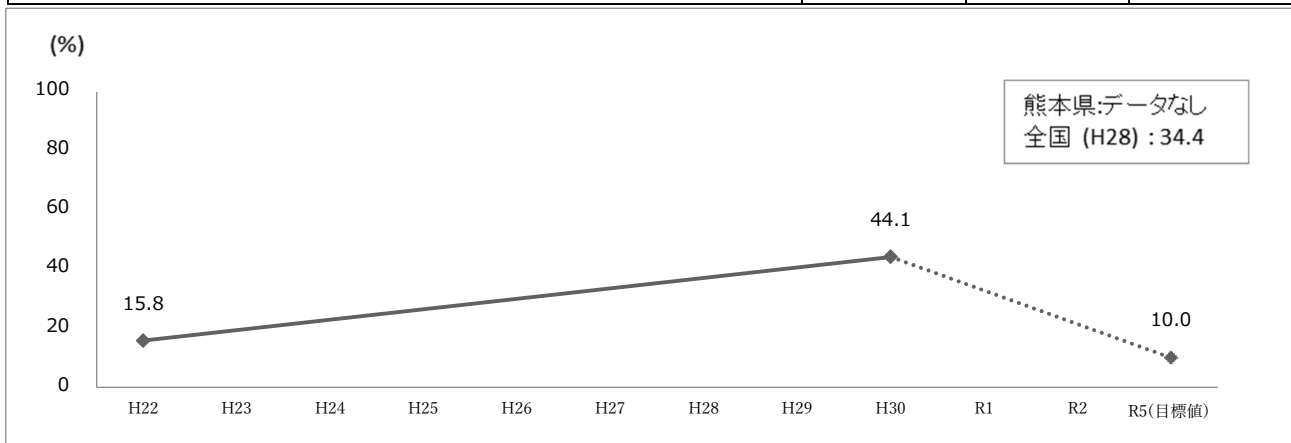
出典：【熊本市】H22 成人歯科健診 H27,H30 健康くまもと 21 市民アンケート 【国】歯科疾患実態調査

指標 17	H22 基準値	H30 実績値	R5 目標値
60 歳代における進行した歯周炎を有する者の減少	53.7%	65.6%	45.0%



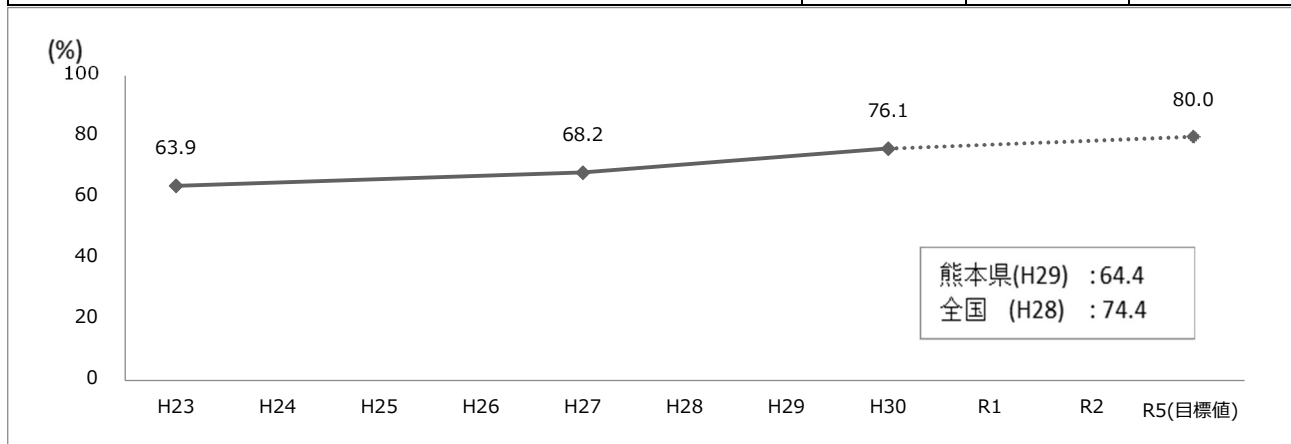
出典：【熊本市】成人歯科健診 【熊本県】熊本県歯科保健実態調査 【国】歯科疾患実態調査

指標 18	H22 基準値	H30 実績値	R5 目標値
60 歳の未処置歯を有する者の減少	15.8%	44.1%	10.0%



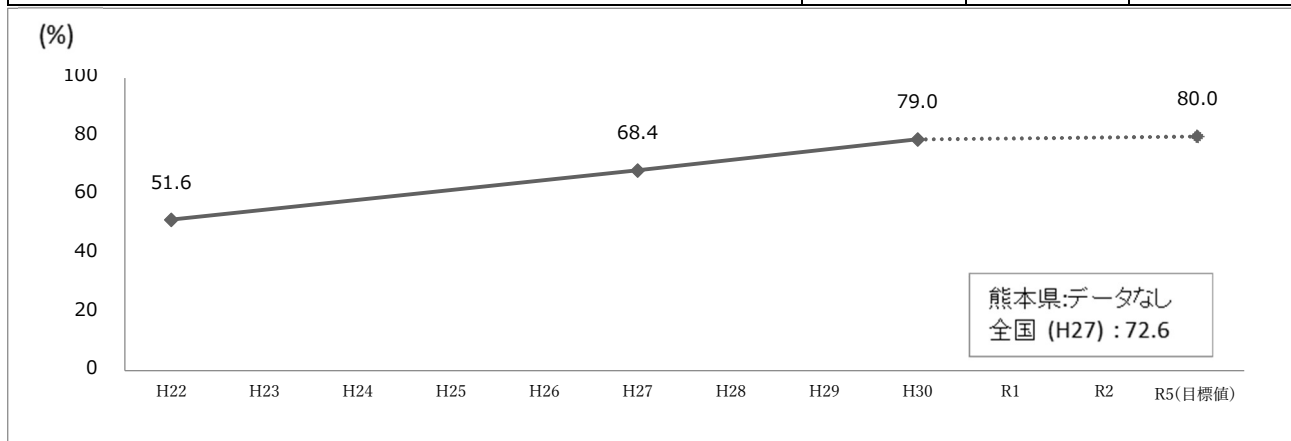
出典：【熊本市】成人歯科健診 【国】歯科疾患実態調査

指標 19	H23 基準値	H30 実績値	R5 目標値
60 歳で 24 歯以上の自分の歯を有する者の増加	63.9%	76.1%	80.0%



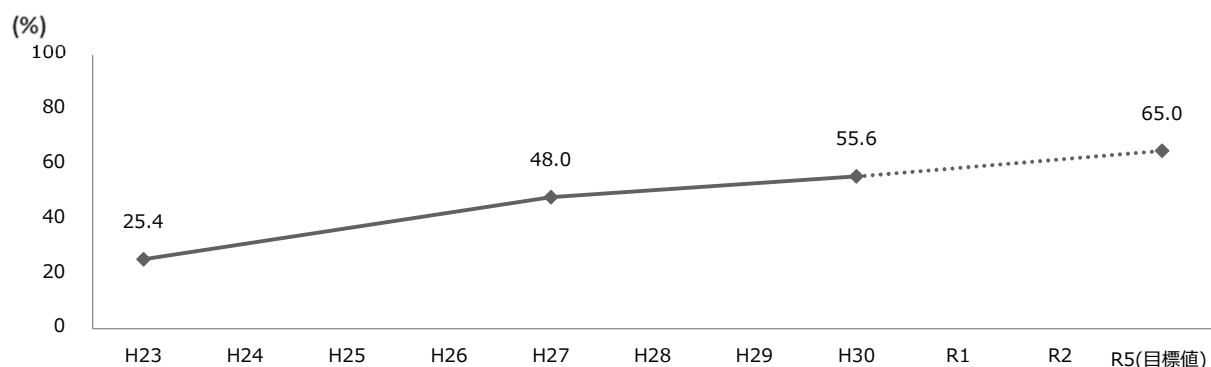
出典：【熊本市】健康くまもと 21 市民アンケート 【熊本県】熊本県健康・食生活に関する調査 【国】歯科疾患実態調査

指標 20	H22 基準値	H30 実績値	R5 目標値
60 歳代における咀嚼良好者の増加	51.6%	79.0%	80.0%



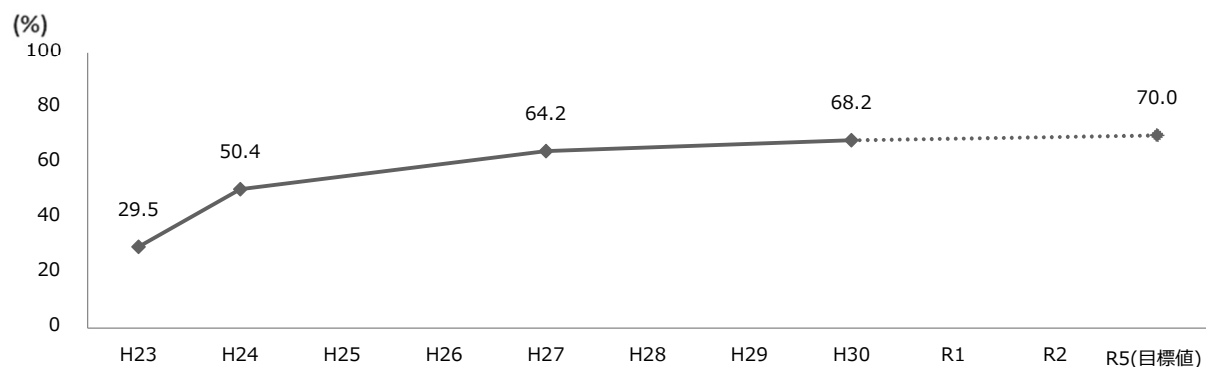
出典：【熊本市】H22 成人歯科健診 H27、H30 健康くまもと 21 市民アンケート 【国】国民健康・栄養調査

指標 21	H23 基準値	H30 実績値	R5 目標値
定期検診を受ける者の増加	25.4%	55.6%	65.0%



出典：健康くまもと 21 市民アンケート

指標 22	H23 基準値	H30 実績値	R5 目標値
口の健康と喫煙の関係について知っている者の増加	29.5%	68.2%	70.0%



出典：健康くまもと 21 市民アンケート

【令和 2 年度の進捗】

《 行政 》

	主な取組	令和 2 年度 内容	実績	担当課
1	歯たちの健診	生活習慣が不規則になる時期でもある大学生等を対象に、歯科疾患の予防と口腔衛生意識の向上を目指し、学園祭や区役所実習の学生に対して歯科健診や歯科健康相談を実施施設	学園祭・各区 中止 (コロナ)	各区 保健子ども課
2	歯周病検診	有病者率が高く歯の喪失をもたらす主要な原因疾患であり、基礎疾患や生活習慣との関係性が指摘されていることから、高齢期において食べる楽しみを享受できるよう、かかりつけ歯科医における定期歯科健診を継続し、市民の健康意識の醸成を図る ※R1 年 10 月開始 ・対象：40・41 歳、60・61 歳 ※コロナ禍において中止期間があり未受診者がいることから、41・61 歳を追加し実施 ・内容：歯・歯肉の状態、歯列・かみ合わせ、顎関節、口腔粘膜、口腔清掃状態 ・実施歯科医療機関：333 歯科医院等	40・41 歳： 20 人 60・61 歳： 27 人 計 47 人	健康づくり 推進課

		※受診率向上の取組 ・受診勧奨チラシを区役所実施の健診の資料に併せて配布 ・大腸がんの個別受診勧奨に併記した周知 ・市政だより・ホームページ・マスコミ（テレビ・ラジオ）による周知		
3	歯科健康教育	【生活習慣病予防教室】1回 16人（西区保健子ども課） C K D（慢性腎臓病）や糖尿病予防教室参加者へ歯科疾患との関連について歯科健康教育、口腔ケア啓発等を実施 【歯科健康教室：8020教室】17回 367人 歯科疾患の予防等について講話・口腔ケア啓発等を実施	18回 383人	各区 保健子ども課
4	歯科健康相談	歯と口腔の健康づくりや定期歯科健診を推進するため、歯科健康相談を実施	18回 25人	
5	地域歯科保健研修会 ※生活習慣病対策関係者研修会と合同開催	生活習慣病対策に携わる多職種の専門職とともに COVID-19 に対する最新知見や生活習慣病対策を、地域経済、市民生活への影響から学び、COVID-19 により生じている課題を共有する研修会 テーマ「COVID-19 と生活習慣病対策を考える」（12/14） 講話「感染症と口腔ケアの深い関係」 講師 熊本大学大学院生命科学研究部歯科口腔外科学講座 教授 中山 秀樹 氏 参加職種：医師、歯科医師、歯科衛生士、薬剤師、保健師、看護師、管理栄養士、社会福祉士、食生活改善推進員、8020 推進員、行政職員等	YouTube 視聴回数 274 回	健康づくり 推進課

《 関係団体・機関 》

	令和2年度 内容	実績	団体
1	【歯周病検診】成人歯科検診への協力	47人	熊本市 歯科医師会
2	【歯たちの健診】 歯科医師会：歯科検診 8020 健康づくりの会：歯科啓発	中止 (コロナ)	熊本市 歯科医師会 熊本市 8020 健康 づくりの会
3	【まちの保健室における健康相談】 月1～2回、熊本市内3か所(県内13か所)で、健康相談時に口腔の健康と禁煙について指導	中止 (コロナ)	熊本県 看護協会
4	【協会けんぽスモールチェンジ生活支援プログラム事業】 企業の職域対象に歯周病等の生活習慣病予防を通して全身の健康づくりに効果的な歯科保健指導を実施 対象：事業所職員 内容：咬合力測定・歯科保健指導	4回 38人 3ヶ所	熊本県 歯科衛生士会 全国健康保険 協会熊本支部
5	【歯科健診事業】 ・熊本県職員歯科健康診断 4回 151人 ・事業所歯科健診 39回 1,426人 歯科医師による検診結果に基づき、受診者に説明・指導等を実施	43回 1,577人	熊本県 歯科衛生士会
6	処方薬の口腔内や歯への影響を説明、発見に努めるとともに、必要に応じて処方 の疑義照会を行う	各薬局にて 実施	熊本市 薬剤師会

7	【定期歯科健診の受診勧奨及び 8020 運動の推進】9 月 役員(30～50 歳代)に向けて、歯周病等を意識的に防ぐために、定期的に歯科健診 を受診する必要があることや 8020 運動について告知	常任理事会 にて周知	熊本市 PTA 協議会
8	【若者・働き世代の健康・食生活の支援活動】 若い頃からの生活習慣病予防や食事バランスガイドの普及のための活動を実施	1,258 回 1,755 人	熊本市 食生活改善 推進員協議会
9	【すこやか食生活改善講習会】 骨粗しょう症をテーマに地域住民を対象とした健康増進のためのレシピの普及と 調理実習を開催	23 区 206 人	
10	【情報提供】 地域や職場などにおいて歯と口腔の健康づくりに関する情報を提供	5 回 57 人	熊本市 8020 健康 づくりの会

【令和 3 年度の取組予定】

《 行政・団体等 》

	令和 3 年度 予定	課・団体
1	【歯周病検診の受診率向上】 ・昨年度に引き続き対象者の年齢拡大：40・41 歳、60・61 歳 コロナ禍により未受診者がいることから、対象年齢を 40・60 歳から変更 ・受診率向上への取組 個別受診勧奨：特定健診受診勧奨の個別通知において周知（R3 年度から） 大腸がん冬季検診個別受診勧奨において周知 チラシの配布：区役所における健診 広報：市政だより、テレビ・ラジオ放送	健康づくり 推進課 各区 保健子ども課
2	【歯周病検診及び後期高齢者健診・歯科口腔健診の受診勧奨】対象者：約 10 万人 特定健診対象者へ送付する受診券の同封チラシに歯周病検診・後期高齢者歯科健診について周知	国保年金課
3	歯周病検診を含めた節目健診の充実の働きかけ	熊本市 歯科医師会
4	【まちの保健室】口腔の健康と禁煙について指導する	熊本県 看護協会
5	【啓発活動の支援】 常任理事会(5 区の代表による会議)後に各区の定例会(所属する小学校・中学校の PTA 会長・副会 長との会議)を開催 今年度は常任理事会、各区の定例会や各単 P への啓発活動(啓発及び資料配布等)を支援	熊本市 PTA 協議会

【今後の方向性】

- (1) 若い世代からかかりつけ歯科医での定期歯科健診や SNS 等を活用した情報発信により、むし歯や歯周病予防の取組の充実を図る。
- (2) 高齢期を見据え、関係団体との連携を通して、喫煙・受動喫煙の健康被害や口の健康が全身の健康につながる等について意識の向上を図る。

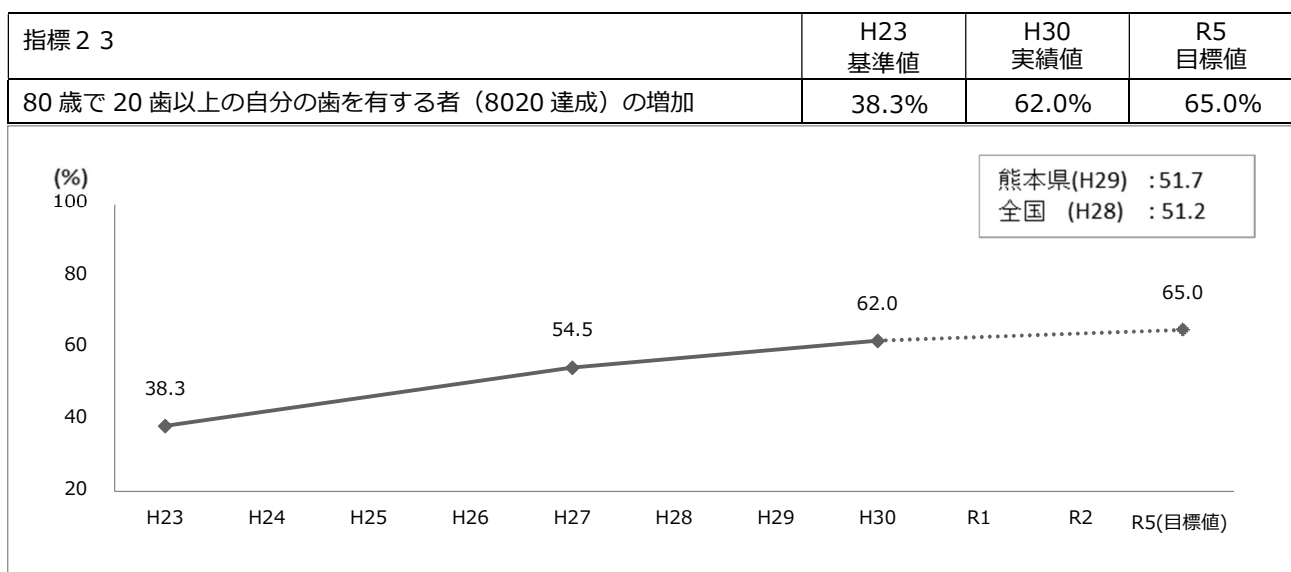
高齢期 指標 23～24

【目標】

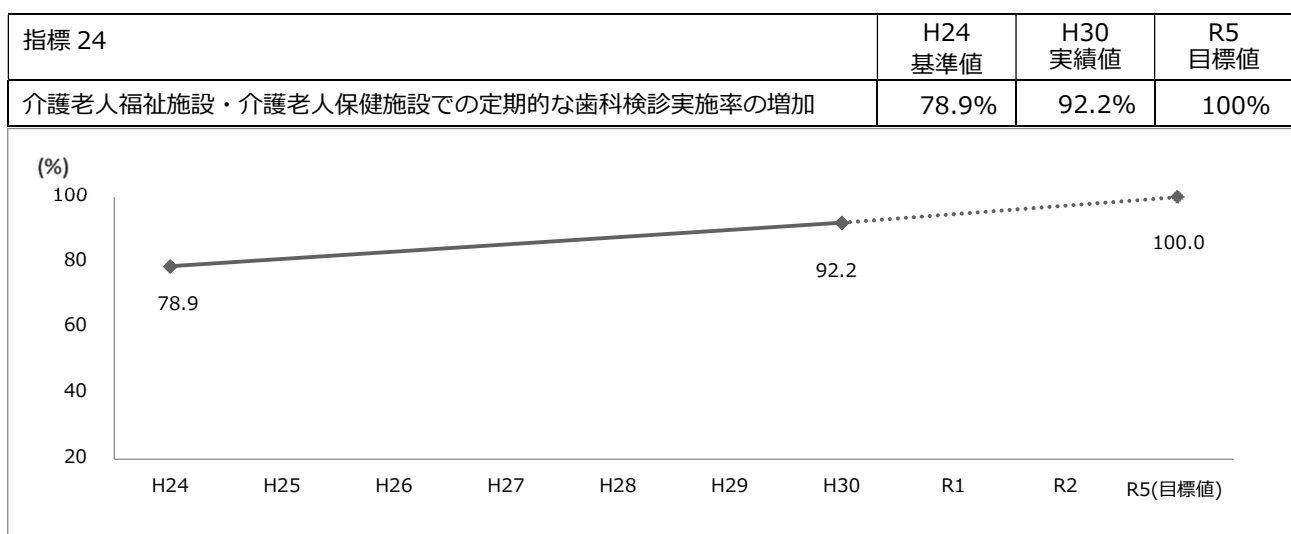
歯の喪失等による口腔の機能低下を防止し、「食べること」を通じて積極的に社会活動ができるように支援する。

【現状と課題】

- (1) 口腔機能の維持・向上を図り健康寿命の延伸のため、後期高齢者歯科口腔健診を実施しているが受診率が低い状況である。
- (2) 8020 を達成した方に 8020 表彰を実施しており、指標 23「80 歳で 20 歯以上の自分の歯を有する者（8020 達成）」は、大幅に増加し全国と比較し多い状況であるものの歯の喪失が急増する時期であることから、高齢になっても豊かな食事や会話を楽しめるよう口腔の機能低下を防止する必要がある。



【熊本市】健康くまもと 21 市民アンケート 【熊本県】熊本県健康・食生活に関する調査 【国】歯科疾患実態調査



出典：【熊本市】介護老人福祉施設・介護老人保健施設アンケート調査

【令和 2 年度の進捗】

《 行政 》

	主な取組	令和 2 年度 内容	実績	担当課
1	8020表彰	満80歳以上で自分の歯を20本以上有する市民（8020達成者）を表彰するため事前診査を行い、コロナ禍のため表彰式は開催せず表彰状を送付	64人	健康づくり推進課 各区保健子ども課
2	歯科健康教育（8020教室）	高齢者を対象に地域において、口腔機能向上や口腔ケアの必要性について歯科健康教育を実施	6回 74人	各区保健子ども課
3	歯科健康相談	高齢者を対象とした歯科健康相談を実施	9回 15人	
4	後期高齢者歯科口腔健康診査	後期高齢者の口腔機能・生活習慣病・誤嚥性肺炎等の疾患予防、改善を図るため、県後期高齢者医療広域連合からの委託を受け実施 ※H28年6月開始 ・対象：75歳以上 ・内容：歯・歯肉の状態、口腔内の衛生状態、嚥下機能や口腔乾燥を含む口腔機能をチェック ・実施医療機関：305箇所 ※受診率向上の取組 ・受診券の送付：前年度受診者へ送付し、継続受診を図る ・新規医療加入者へ受診勧奨（75歳到達者へ発送） ・普及啓発：ラジオ放送による周知	784人 0.9% (R3年5月末暫定値)	国保年金課
5	短期集中予防サービス（口腔機能向上プログラム）	日常生活総合支援事業に基づき実施 ※R1.10月開始 対象者：要支援1.2及び本サービスを利用することにより機能の維持・改善が見込まれる65歳以上 内容：・口腔機能向上や改善を目的としたプログラムを実施 ・対象者の状況により運動機能向上・栄養改善プログラムと組み合わせ実施 回数：月1回、計3回 実施場所：病院・事業所・歯科医院	6事業所 利用回数：9回 利用者：5人	高齢福祉課
6	介護保険認定審査会	介護保険法第27条及び32条の規定に基づき、要介護（要支援）認定を受けようとする被保険者の要介護度の審査判定（認定審査会）を実施 構成委員：保健医療及び福祉に関する専門的知識を有する者として歯科医師又は歯科衛生士が含まれる	578回	介護保険課
7	地域ケア会議	介護保険法第115条の45第2項第3号及び第115条48の規定に基づき実施する地域ケア会議において、自立支援型ケアマネジメントの視点で専門職として助言を実施 構成委員：保健医療及び福祉に関する専門的知識を有する者として歯科医師又は歯科衛生士が含まれる	132回 (オンライン)	
8	出前講座	庁内各課および関係機関が実施する講座について、一覧で周知し、生涯学習を通して歯と口腔の健康づくりに取り組む講座：「舌を鍛えて健康長寿～ペロタッチ健康法～」 実施団体：口からの健康づくり歯っぴーかむカム	10回 330人	生涯学習課

《 関係団体・機関 》

	令和 2 年度 内容	実績	団体
1	【8020表彰】該当者の推薦（会員へ周知徹底し、推薦を行う）	実施	熊本市 歯科医師会

2	【自立支援型地域ケア会議】 専門職として歯科医師・歯科衛生士による助言を行う ・市歯科医師会担当：27 人 ・熊本県歯科衛生士会派遣：11 ケ所 46 回 ・熊本県栄養士会：86 回	ささえりあ 全 27 ケ所	熊本市地域包括 支援センター連 絡協議会 熊本市 歯科医師会 熊本県 歯科衛生士会
3	【高齢者の食支援の方法と口腔ケアの講義及び演習】(10/6) 対象：高齢者のケアを実施する看護職・介護職	55 人	熊本県 看護協会
4	【看護職に対する研修】 摂食・嚥下障害への支援と口腔ケアについて	1 カ所 29 人	
5	処方薬の口腔内や歯への影響を説明、発見に努めるとともに、必要に応じて処方 方の疑義照会を行う	各薬局にて 実施	熊本市 薬剤師会
6	【短期集中サービス】 栄養改善プログラムにおいて訪問栄養指導	6 件	熊本県 栄養士会
7	【口腔ケア等の啓発】 ・高齢者サロン等で口腔ケア等の講話を予定していたが、コロナ感染症拡大防止 のため開催が困難となった ・通所利用で口腔ケアプログラムの対象になる方については、サービスの中に 口腔ケア等のメニューを積極的に導入	ささえりあ 全 27 ケ所	熊本市地域包括 支援センター連 絡協議会
8	【フレイル等予防冊子の作成・配布】 フレイル予防・コロナ対策：「自宅でできるからだ作り コロナに負けるな！」 熱中症予防：「熱中症をあなどるな！」 作成し、啓発を実施	ささえりあ 水前寺	
9	【生涯骨太クッキング】骨・歯を守る食育 12/16 いきいきサロン参加者に対して、骨・歯についての講話とカルシウムを上手に摂 取する食事の工夫について啓発	35 人	熊本市 食生活改善 推進員協議会
10	【世代別に取り組む生活習慣病予防のためのスキルアップ事業（高齢世代）】 自宅に閉じこもりがちで一人暮らしの高齢者に対して、低栄養やフレイル・オー ラルフレイル予防について資料を配付し説明を実施	33 人 (個別訪問)	
11	【高齢者の健康・食生活の支援活動】 高齢者サロン等と連携し、フレイル・オーラルフレイル予防のための食生活や日 常生活について啓発を実施	1,598 回 3,463 人	
12	【唾液腺マッサージやお口の体操】 高齢者サロンや老人会等において、お口の機能を高める口腔体操を実施	27 回 631 人	熊本市 8020 健康 づくりの会

【令和 3 年度の取組予定】

《 行政・団体等 》

	令和 3 年度 予定	課・団体
1	【8020 表彰】 従来の区役所の事前審査に加え、市歯科医師会会員のかかりつけ歯科医院における事前審査 を追加することにより、市民の身近な歯科医院での審査が可能になり、利便性の向上に取組 む。また、感染症の拡大防止のため表彰式は開催せず、表彰状は郵送する。	各区保健子ども課 健康づくり推進課 熊本市歯科医師会

2	【オーラルフレイル予防、口腔機能向上の啓発】 高齢者サロン等において実施する	各区保健子ども課
3	南区地域包括ケアシステム推進方針に基づき、関係団体と連携を図り、歯と口腔の健康づくりに取り組む	南区 保健子ども課
4	【後期高齢者健診・歯科口腔健診】 ・健診内容に舌・口唇機能評価として「オーラルディアドコネシス」を追加 パ、タ、カをそれぞれ一定時間に言える回数を測定し、1 秒間あたりに換算し判定（1 秒間あたり6 回／未満である場合、注意を要する） ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施による地域での健康教育等で健診勧奨を図る	国保年金課
5	【後期高齢者歯科口腔健診事業】周知徹底する	熊本市 歯科医師会
6	【口腔ケア等の啓発】 ・高齢者サロンの再開の際には、口腔ケアの必要性など積極的に伝える ・口腔ケア等について、リハ職派遣事業において言語聴覚士による講話が好評だったため、今後も積極的に実施する 【フレイル予防】 令和 2 年度に作成したコロナや熱中症、フレイル予防の冊子を活用し、高齢者サロン等で積極的にフレイル予防について啓発する	熊本市地域包括支援 センター 連絡協議会

【今後の方向性】

- （1） 後期高齢者歯科口腔健診において嚥下機能チェックや口腔乾燥等の口腔機能状態の把握に努め、「滑舌低下、食べこぼし、わずかなむせ、噛めない食品が増えた」などの歯と口の機能のささいな低下である「オーラルフレイル」の予防や改善に向けた取組を強化し、人生 100 年時代に向けて口腔衛生意識の醸成を図る。